

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、全国のオリジナリティー豊かなコンセプトや特徴あるまちづくりを行っている新幹線駅として来年3月14日に開業する北陸新幹線延伸区間（長野〜金沢）から飯山駅を紹介いたします。

また、今年のくらしの知恵創作展のリニア賞受賞作品が決まりましたので、お知らせします。

問 リニア対策課

※11月からリニア都市政策部が新設されます。内線番号が変わる場合がありますのでお手数ですがお電話の際は課名をお伝えください。

飯山駅（長野県飯山市）

駅のできる飯山市は、長野県の最北に位置し、千曲川に広がる盆地を中心に、周辺を山々に囲まれた自然豊かな風景が広がる田園都市です。

駅舎は、在来線飯山駅を新駅に移設し、併設する形で建設が進められ、「豊かな自然の懐に抱かれたやさらぎの駅」をデザインコンセプトに、都会では見られない雪山の印象的な美しさや飯山市の伝統工芸である内山紙の柔らかさを感じるデザイン

ンテーマとしています。
また、駅舎施設には県産材を使用し、メインの柱には飯山の四季をデザインするなど、ぬくもりのある空間を創造しています。



- ▲ 都市施設は昇降施設等駅機能を補完。一面ガラス張りの窓の外には自然豊かな山並みを眺望できます。
- ▲ 柱には飯山の四季をデザイン

飯山駅周辺整備の概要

飯山市では開業に向けて、3つの駅前広場と広域観光案内機能を有する都市施設の整備が駅舎に合築する形で進められています。駅東口は広



域観光の玄関口として、交通広場を設置。バス・タクシー乗り場や周辺の9市町村と連携して、各市町村を結ぶシャトルバスの待機所を確保するなど、交通結節点機能を考慮した整備が行われています。また、駅西口には立体駐車場やロータリーが整備されるほか、昇降施設が設置され、利用者にとって利便性が高い施設となっています。

さらに、新幹線飯山駅の駅機能を補完する都市施設内には広域観光案内所や交流ホールなどが設置され、北信州の玄関口として観光客の利便性の向上が図られています。



交通結節点として整備が進められる東口の広場
(名称:千曲川口広場)

取材協力:飯山市

第39回くらしの知恵創作展

リニア賞決定

リニア中央新幹線まちづくり推進市民の会では、将来を担う子どもたちへのリニアプロジェクトの広報活動のため、くらしの知恵創作展においてリニア賞を創設し、創意工夫に富んだ取り組みを表彰しています。受賞者は次の皆さんです。【敬称略】

☆リニア大賞(1名) ☆
酒井 彩名(南小・4年)



大賞作品『中津川の町にリニアがくる!』

☆リニア賞(10名) ☆

- 鎌田 晴陽(坂下小・1年)
- 佐藤 岬(南小・2年)
- ながせ ゆうや(東小・2年)
- たてり ゆうき(東小・2年)
- 森 遼太(坂下小・2年)
- 中久保 侃(付知北小・2年)
- 牧野 修万(東小・3年)
- あさの たかと(坂本小・3年)
- 長谷保 直紀(坂本小・5年)
- 吉田 幸史(西小・6年)